

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本・安曇野におけるユニバーサルツーリズム推進の為の地域トラベルサポーターの養成及び実証実験
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 ユニバーサルツーリズムなごの
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり オ その他地域特色、個性を活かした産業振興雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,072,126 円 (うち支援金: 2,442,000 円)

事業内容

ユニバーサルツーリズムに関する担い手づくり

事業1. 地域トラベルサポーター養成講座

事業2. フォローアップ研修

地域トラベルサポーター実証実験

事業3. 実証実験モニターツアー

事業4. 実証実験(事業1~3)の成果発表
シンポジウム開催

事業5. 障がい児者・高齢者の移動支援の為の「けん引式車いす補助装置」及び入浴時介護用具などの購入



【実証実験モニターツアー】

【目標・ねらい】

- ①地域トラベルサポーターの養成及びフォローアップ
- ②地域トラベルサポーター実証実験
- ③「けん引式車いす補助装置」及び入浴時介護用具などの購入

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①安曇野・松本、飯田・昼神において地域トラベルサポーターの養成が出来、地域における旅行や外出の受け入れが可能となった。
- ②地域トラベルサポーター実証実験により、要介護状態であっても「行きたいところ」へ行ける事が実証できた。また、その成果発表により、地域住民への広報が行えた。
- ③「けん引式車いす補助装置」などの購入により、②の実施が可能となった。

※自己評価【B】

【理由】

地域トラベルサポーター養成において予定数に達しなかった為。実施の回数などについてはほぼ予定通りの成果が出せた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、本事業を3年間継続し、旅行会社や介護施設、障がい者施設、養護学校などの受け入れに繋げて行く。

また、来年度より本格的に事業化し、着地型旅行、発地型旅行の両方に対応できる団体にしていき、2020年のオリンピック、パラリンピック時にも対応できるようにしていく。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある